



※注意：このシートは横浜市の  
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	区画整理 共同化推進	横浜市 金沢区 金沢八景	平成20年3月 ～ 平成23年2月	横浜シーサイドラインの八景駅への乗り入れ、駅広整備等の区画整理事業が進められてきた。24年度仮換地が終了し、まち全体としてどのようなまちにして行くかが課題である。自然と歴史、大学の町の特徴を各地権者の共有した価値観として反映できるまちづくりの為に様々なイベントや勉強会が実施され、講演や共同化誘導等の他、それらの会に参加しながら、アドバイザー的機能で支援。
	市街地整備 道路整備事業	東京都港区 品川	平成12年8月 ～ 平成16年8月	港区は民間の品川駅開発協力金を基に地域貢献のできる事業として、地域の将来に安全でにぎわいの在るまちなみを誘導するためのコミュニティ道路整備計画を行う。住民の参加のもとに道路形体、道路修景物デザイン至まで、地元商業主、住民と修景物制作の東京芸術大学大学院、港区との協議、共同作業で具現化する迄を企画、制作支援。
	地区計画	青葉荏田 北二丁目 地区	平成13年6月 ～ 平成17年3月	建築協定が失効に近い時期、何らかのまちのルールを必要としていた当該地区は、それらを補完する自治会任意によるデザインガイドラインを制定後、地区計画に向けての意向調査や集会を実施支援し、その後、素案作成協力や地域の既存不適格調査を行い、平成17年6月に都市計画決定による地区計画が制定された。その後、色彩と意匠の形態審査を住民独自で運営する仕組みを創り上げる協力支援。
	区画整理 まちづくり支援	千葉県 柏の葉地区	平成12年6月 ～ 平成15年3月	常磐新線の柏駅周辺の土地区画整理事業の推進にあたり、住民、千葉県企業庁、事業者地権者による土地利用方針と事業者誘致によるまちのイメージを調査・検討。 <ul style="list-style-type: none"> <li>企業間連携体制の支援</li> <li>区画整理後の土地利用方針のイメージづくり・計画</li> <li>商業施設誘致のまちづくり指針づくりの支援等</li> </ul>

まちづくりに関するPR

郊外住宅地の「これからの時代に適応したまちづくりルール」の検討支援

建築協定や地区計画等の街のルールは、住民の高齢化や空き家・空き地問題、運営参加人材不足等を抱え、ルールの制度疲労に瀕している。これらの問題を地域に見合った方法を下に、以下の目標を求め住民と共に解決して行きたい。

- ・ 目標となる暮らし方：現状の環境保全維持と生活の QOL の維持、人口減少や高齢化に即した、更に暮らしやすい新しい機能の投入が求められる。
- ・ 法制度と仕組み：環境維持の法の規制と暮らし易い法の支援の整合性、それに伴う住宅環境保全と生活の QOL を維持できる地域生活の支援エリアマネジメント機能の必要性。
- ・ 所有形態：戸建て世帯毎の所有形態に限らず、シェアハウス、分割所有等の複数所有形態を含む、新しいまちの在り方、住まい方に併せた新しい住宅の所有形態のルールの許容と税制緩和が求められる。
- ・ 新しい機能：環境保全を基盤に住宅市場に併せた規模の幅を含み、高齢化したまちに、若い世代を受入れる知恵のある地域のマネージメント、多世代交流のできる新しい生活形態の許容の場をつくり出すことが求められている。